

フェアトレードはさらに広がっています

●静岡文化芸術大学がアジア初のフェアトレード大学に

2003年にイギリス、オックスフォード・ブルックス大学が最初に認定され、フェアトレード大学という認定制度が始まりました。現在イギリスで170近い大学が認定されています。認定組織の審査を受け、合格した大学がフェアトレード大学を名乗ることができます。

静岡文化芸術大学は2018年2月、アジアで初めてフェアトレード大学の認定を受け、学生サークルの活動を通じてフェアトレードに貢献しています。

2019年には札幌学院大学、北星学園大学・北星学園短期大学部が同時に認定されています。

●フェアトレード、エシカル消費そしてSDGsへ

エシカル消費とは人や社会、地域、環境に配慮した消費行動のことで、そのわかりやすい事例の一つがフェアトレードです。

SDGs (Sustainable Development Goals: エス・ディー・ジーズ) は、2015年9月に国連の「持続可能な開発サミット」で全会一致で採択された2030年までの国際目標のことで、

17の持続可能な開発目標の12番目は、「つくる責任つかう責任」(持続可能な消費と生産の形態を確保する)です。

フェアトレードを含むエシカル消費の推進は、この目標を達成するための具体的な取組の一つであり、私たち消費者の選択によって持続可能な社会の実現に貢献していくことができます。

12 つくる責任
つかう責任



はままつフェアトレードタウン・ネットワークの紹介

フェアトレード商品を販売する団体、関心のある市民が集まって2015年に設立した団体です。浜松のすべての市民が途上国の生産者の人たちを思い、公正で持続可能な消費生活を実践し発展させていくことを目指して、フェアトレードにかかわるイベント、学びの場づくりを浜松で続けています。



HP <http://h-fairtrade.net/> **(Mail)** info@h-fairtrade.net

浜松市市民部市民生活課 暮らしのセンター

発行/2019年11月

TEL 053-457-2635 **FAX** 053-457-2814

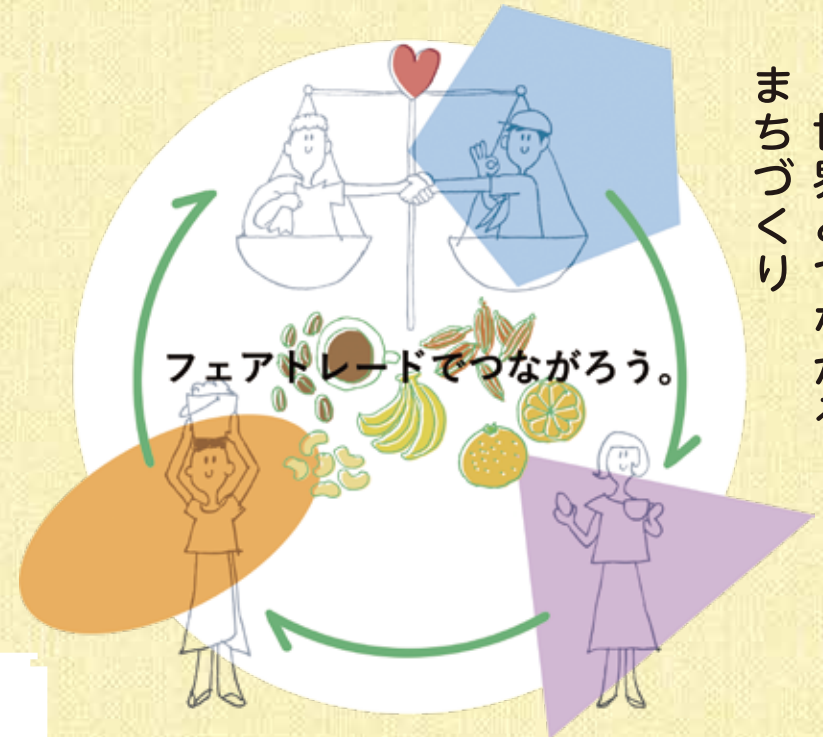
HP <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kurashi/>

協力 はままつフェアトレードタウン・ネットワーク



出世大名
家康くん
©浜松市

フェアトレード 浜松 タウン FAIR TRADE TOWN HAMAMATSU



フェアトレードでつながろう。

ひろげよう
世界とつながる
まちづくり

浜松市は2017年(平成29年)11月、地域ぐるみでフェアトレードを推進するフェアトレードタウンの認定を受けました。

認証団体は一般社団法人 日本フェアトレードフォーラムで、浜松市は熊本市、名古屋市、逗子市に続いて日本で4番目、2019年6月には札幌市、9月には、いなべ市も認定を受け合わせて6都市になりました。



認定証を受け取る市長と杉山氏(はままつフェアトレードタウン・ネットワーク代表)



フェアトレードとは

発展途上で作られた製品や生産された原料を、**〈適正な価格〉**で**〈継続的に購入〉**し、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す**〈公正な貿易のしくみ〉**です。

フェアトレード商品をさがす

多様なフェアトレード商品が地元の小売店や飲食店等で提供されています。

下はフェアトレード商品に付けられる代表的なラベルです。

左)国際フェアトレードラベル機構の基準を満たした商品に付けられる認証ラベル

右)世界フェアトレード連盟の保証を受けた団体の商品に付けられるラベル



また、認証ラベルはありませんが、団体や企業の独自の基準により販売されているフェアトレード商品があります。

何をすればいいの？

★できることから始めよう

◆はままつフェアトレードマップでお店を確認する

- ・くらしのセンターや協働センターに置いてあります。
- ・くらしのセンターのホームページからダウンロードもできます。

◆近くのお店でフェアトレード商品があるか聞いてみる

◆お店になかったら置いてもらうようお店の人に伝える

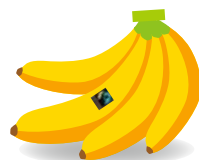
◆購入したら、友達や家族に伝える

◆感じたことをSNSで発信する

◆イベントに参加する

◆ネットやメディアから積極的に新しい情報を手に入れる

◆はままつフェアトレードタウン・ネットワークの会員になる

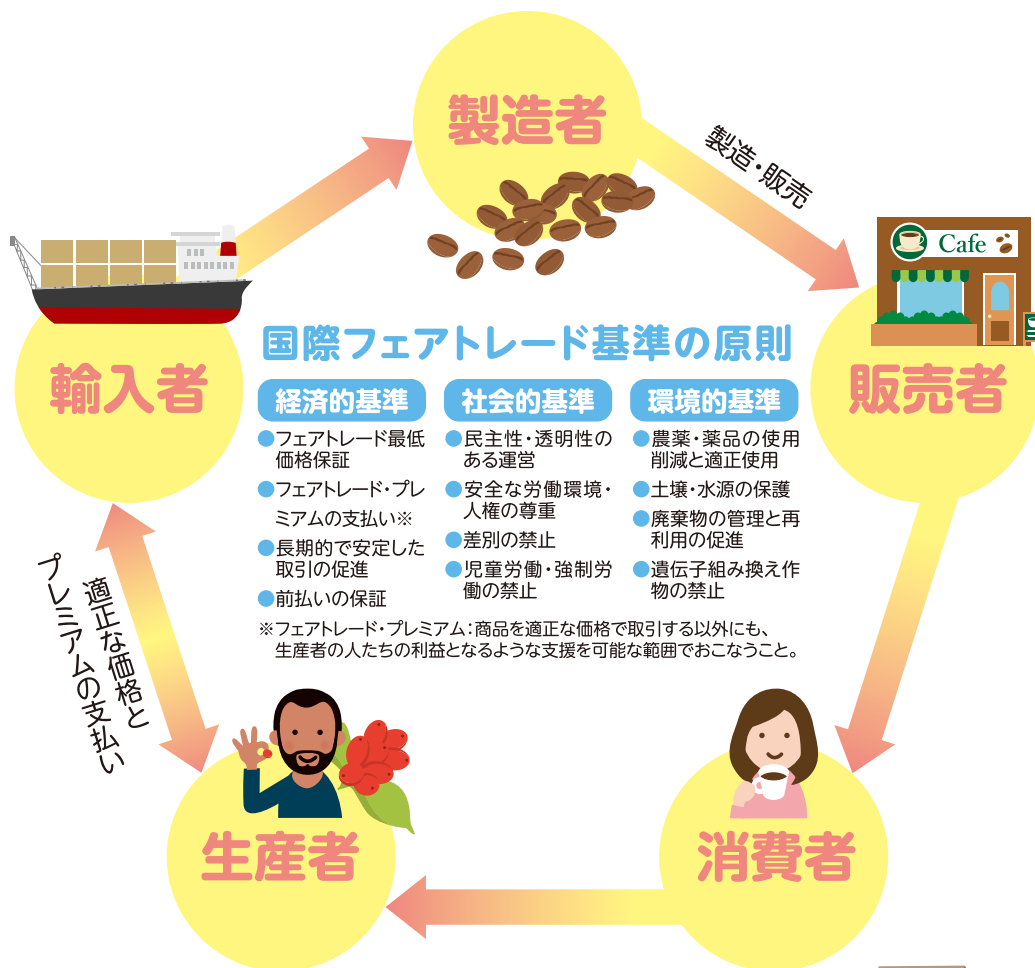


フェアトレードマップ(部分)



事業者の皆さんへ

- フェアトレード商品を置いてみませんか？フェアトレードマップの更新時に掲載できます。
- フェアトレードマップや啓発冊子などを提供できます。(くらしのセンターにご連絡ください。)



フェアトレードタウンとは

市民、市民団体、事業者と行政が一体となり、まちぐるみでフェアトレードを推進する自治体のことです。2000年にイギリスで運動が始まり、今では30か国2000以上の都市が認定されています。

今後はフェアトレード大学との連携、地産地消やまちづくり、環境活動、障がい者支援等のコミュニティ活動との連携が進むことで、フェアトレードタウン運動の広がりと、地域活性化への貢献が期待されます。

フェアトレードタウン認定基準

と 浜松での取組

基準1 推進組織の設立と支持層の拡大

⇒はままつフェアトレードタウン・ネットワークが中心となり活動しています。

基準2 運動の展開と市民の啓発

⇒イベントが開催され、新聞・テレビなどで取り上げられています。

基準3 地域社会への浸透

⇒職場や家庭でのフェアトレードコーヒーの利用、学校給食へのフェアトレード商品の導入など事例が増えています。

基準4 地域活性化への貢献

⇒啓発イベントや市の教材作りを通して地域の様々な企業、団体と連携しています。

基準5 地域の店(商業施設)によるフェアトレード製品の幅広い提供

⇒取扱店舗は年々増え、2019年11月には158店舗となっています。

基準6 自治体によるフェアトレードの支持と普及

⇒市議会によるフェアトレードを支持する旨の決議と、市長のフェアトレード支持宣言が行われました。

※認定は3年ごとの更新制であるため、次回の認定申請に向けて取組を一層充実させていく必要があります。